

町教育のさらなる充実に向けて

就任2年目を迎える教育委員の皆さんに、新年の思いを述べていただきました。(敬称略)

生きる力を持った益城っ子を育てる

教育委員 藤田 享幸

生活の基礎基本となるあいさつ、規範意識、生命の尊重などの教育は学校・家庭・地域が一体になって推進しなければなりません。本年も、関係機関が連携し、「生きる力を持った益城っ子」が育つように頑張ります。

また、町民の皆さんが交流情報センターや陸上競技場などの素晴らしい施設を十分活用するなど、多くの機会を生かし健全で活力ある生活を送っていただくことが出来るように精一杯努力していきたいと思っています。

子どもたちが持つ考えを、表出できる場を設ける

教育委員長 坂田 敏昭

昨年は「広報ましき」を通して益城の教育に関する情報を提供しつつ、あらゆる立場の方々の意見や提案を拝聴する1年でした。

今年はその思いを受けて具体的な施策を考えてまいります。

1. 益城の子どもたちが持っている考えを表出できる場の設定
2. 地域の各団体との意見交換の場の設定
3. 学校現場の指導体制の強化と2学期制

安全な環境作りに心を配る

教育委員 田中 茂子

責任の重い役に不安でしたが、周りの皆様の助けによって、何とか1年を終えることに感謝しています。参加した行事では、子どもたちから多くの元気をもらいました。特に人権フェスティバルでの演劇や意見発表など、身体全体で表現する姿に感動させられました。このように可能性を秘めた子らが、自然豊かで農産物にも恵まれた益城町で楽しく学び、仲良く遊んだりと安心して学校生活を送り、心優しく育つように、地域の皆様と共に安全な環境作りに心を配っていききたいと思っています。

地域、各機関と連携し教育環境の充実を図る

教育長 森永 好誠

21年度中の大きな事業として、益城中央小学校の新築移転、益城中学校の運動場拡張、広安西小学校の教室不足によるプレハブ教室仮設があり、これをきちんと完了します。

22年度は、地域の協力を得ながら幼・保・小・中連携推進事業を充実するとともに、「いきいき益城っ子」事業の支援範囲の拡充、交流情報センターの活用促進および学校と連携した図書館機能の充実を目指します。国や県の研究指定や人的支援を活用しながら教育環境の充実を図ってまいります。

講座や施設の有効利用のための努力をする

教育委員 松野 憲治

教育委員をやらせてもらって1年。町内外の学校を訪問させていただき、現場の大変さ、教育の難しさを改めて知りました。

現状を見据え、今できる限りの最善をつくしたいと思っています。

人生、子どもだけでなく大人も一生勉強だと思います。生涯学習のためのいろいろな講座や施設が町にはあります。これらのものを、もっと有効利用していただけるよう協力・努力していきたいと思っています。

教育委員の皆さん（前列左から坂田敏昭氏、藤田享幸氏、後列左から森永好誠氏、田中茂子氏、松野憲治氏）

